

TOP MESSAGE



代表取締役社長兼CEO(最高経営責任者)

岩城 裕一

**病に苦しむ世界中の患者さんのために、
新薬を創り、届けること。
それがメディシノバの使命です。**

日本のすぐれた創薬技術をいかして、
安全で有効な新薬を世界へ届ける…

患者さんの笑顔をつくるのが、私達の仕事です

会社理念

十分な治療法がまだ確立していない疾病を患う
世界中の患者さんに、よりよい治療を提供することにより
社会に貢献すること

基本経営方針

理念を具現すべく、こうした疾病の問題を改善する
医薬品の導入、開発、販売を手がける
グローバルな製薬会社を目指すこと

MN-166 (ALS、進行型多発性硬化症)、 MN-001 (NASH/NAFLD) の治験において ポジティブな結果が得られました。

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

前回の株主通信vol.22以降のトピックは、主要プログラムのMN-166に関して多くの進展があったことです。昨年12月にALS(筋萎縮性側索硬化症)を適応とする臨床治験の主要評価項目である安全性および認容性を達成し、治療効果においても有益な傾向が確認されました。本年2月には、進行型多発性硬化症を適応とするフェーズ2b臨床治験に関して新たなポジティブデータ(継続する身体的障害の進行リスクの低下)を報告させていただき、3月には化学療法誘発性末梢神経障害(抗がん剤による末梢神経障害)患者を対象とするフェーズ2臨床治験開始とメタンフェタミン(覚醒剤)依存症を適応とするフェーズ2臨床治験の結果を報告させていただきました。

また、もう一つの主要プログラムMN-001に関しては、4月にNASH/NAFLDを適応とするフェーズ2臨床治験の主要評価項目の中間解析において、極めて良好な結果(中性脂肪値を有意に減少させる効果)が認められましたので、本治験を早期に終了することを決定し、速やかに次のステップに進む準備に着手することを報告させていただきました。

今後も、株主の皆様のご期待に応えられるよう社員一同、臨床開発、導出活動に邁進する所存でございます。株主の皆様には、今後ともなお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年4月